

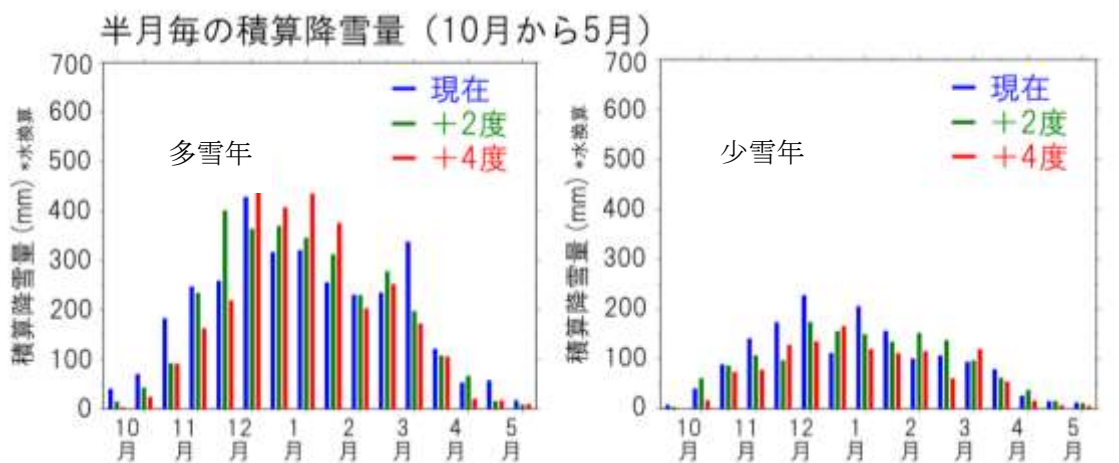


地球温暖化により、北アルプスの降雪量が極端化することが分かりました。

気象研究所、東北大学、海洋研究開発機構、気象業務支援センター、長野県環境保全研究所の研究グループは、1km メッシュの高解像度気候シミュレーションを行い、地球温暖化により今世紀末の北アルプスの冬の降雪量が極端化する（雪が多く降る年はより多く、あまり降らない年はより少なくなる）ことを示しました。本成果は3月11日付で日本地球惑星科学連合の国際誌「Progress in Earth and Planetary Science」に掲載されます。

【研究の概要】

- 高解像度（1km メッシュ）の気候変動予測シミュレーションにより、地球温暖化が北アルプスの雪に及ぼす影響を検討しました。
- 今世紀末の北アルプスでは、雪が多い年の冬季には、現在以上の大雪が降る一方、雪が少ない年の降雪は現在と比べて大幅に減少する可能性があることが分かりました。
- 地球温暖化が進行すると、北アルプスの降雪は現在よりも極端化することが示唆されます。



*水換算：降雪量を水換算の量（mm）として示している。

本研究は文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム(SI-CAT)」及び「統合的気候モデル高度化研究プログラム」の一般財団法人気象業務支援センターを主管機関とする領域テーマ C「統合的気候変動予測」課題（研究代表：高薮 出）の支援を受けて実施されました。



【長野県は「SDGs 未来都市」です】
SDGs（持続可能な開発目標）は、美しく、誰もが安心して暮らし続けられる社会をめざし、世界みんなで取り組む目標です

環境保全研究所 自然環境部（飯綱庁舎）
（次長）関澤 実（担当）浜田 崇
T E L 026-239-1031（代表）
F A X 026-239-2929
E-mail kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

環境部 環境政策課 企画経理係
（課長）中村宏平（担当）神山涼一
T E L 026-235-7169（直通）
026-232-0111（代表）内線 2718
F A X 026-235-7491
E-mail kankyo@pref.nagano.lg.jp